



JAPAN VIDEO SOFTWARE ASSOCIATION

JVA REPORT

1

'16 JANUARY
NO.174

MAIN REPORTS

- 桐畑敏春会長 2016年年頭所感
- 2016年新年賀詞交歓会 盛大に開催

SCIENCE FICTIONS

LOVE STORY

EDUCATION

ANIMATION

ACTION

KIDS

MUSICAL

CONCERT

HOW-TO

TV SHOW

一般社団法人 日本映像ソフト協会 会報

〒104-0045 東京都中央区築地2-11-24 第29興和ビル別館2F
電話:03-3542-4433 FAX:03-3542-2535 <http://www.jva-net.or.jp>
編集・発行 一般社団法人 日本映像ソフト協会
2016年1月26日発行



桐畑敏春会長 2016 年年頭所感	2
2016 年新年賀詞交歓会 盛大に開催	3
2016 年西日本合同賀詞交歓会を開催	7
第 350 回定例理事会開催報告	8
アンチリッピングキャンペーントレーラー収録作品数について	8
映像ソフト市場規模及びユーザー動向調査 2015 について	8
第 7 回総務人事委員会開催報告	8
「クールジャパン官民連携プラットフォーム」への加盟について	9
協会 HP に上映用・業務用の利用についてバナーを設置	9
jmd 社 映像データベースの作品登録状況	10
「柔軟性の高い権利制限規定」をめぐる動向について	10
不正商品対策協議会	11
コンテンツ海外流通促進機構	12
リレーエッセイ⑪⑭	13
日誌に見る協会の動き	13
月間売上統計(2015 年 11 月)	14



<http://www.jva-net.or.jp/anti-ripping/>



サラリーマン 山崎シゲル

× 日本映像ソフト協会

知って
いますか?

アンチリッピングキャンペーン DVDのリッピングは違法です!



2016年 年頭所感

一般社団法人 日本映像ソフト協会
会長 桐畑 敏春



皆様、明けましておめでとうございます。

2015年の映像業界の中で著しい変化が見られましたのは、映像配信をめぐる動きだったかと思えます。米国大手の配信事業社が日本でのビジネスを開始したり、コンテンツホルダーによる直営映像配信サービス「bonobo」もサービスを開始しました。さらに、放送事業社による無料の見逃し配信サービスも活発化してきています。こういった状況は、ユーザーに配信を通して映像に触れていただく機会が増えることとなり、コンテンツ提供側にとっても大変喜ばしいことであり、ようやく「パッケージソフトと配信の相乗効果」が期待できる状況になってきたと感じております。

また映像技術も更なる進歩を見せ、4Kテレビの普及も話題を集めました。ある調査会社の調べによると、昨年1年間で4Kテレビは60万台以上が出荷され、46インチ以上の大画面テレビの販売に占める4Kテレビの比率は50%を超える勢いだそうです。今後はよりハイクオリティな映像環境が家庭内に普及していくことは確実です。また、4K、8Kといった解像度の高度化だけではなく輝度や色域の表現幅を大幅に拡大するHDR (High Dynamic Range) 技術も大きな進歩をみせています。当協会では、昨年、この「HDR」についてのセミナーや、4KやHDRに対応した次世代のパッケージ規格である「Ultra HD Blu-ray™」についてのセミナーを会員社向けに開催するなどしました。今後近い将来、コンテンツ制作においても、こういった次世代の技術を取り入れて新しい映像コンテンツの世界を切り開き、ビジネスチャンスに繋がっていくことを期待しております。

一方、我々の足元を固めている映像パッケージのビジネスですが、苦しい状況が続いていることは否めません。SNSやゲームなどとの可処分時間の奪い合い、またはエンタテインメント全体の中における映画、映像視聴の位置づけの変化などが影響していると考えられます。配信を含めたウィンドウの組み立て方や、それぞれの作品にあったきめ細やかな宣伝、販促など、ヒットを狙う工夫を積み重ねていく姿勢が重要です。幸い、昨年夏は劇場用映画の興行成績がよ

く、それらの作品が年末から今年初頭にかけて次々とリリースされてきております。久しぶりに洋画のヒット作も多く生まれており、パッケージソフトビジネスにも良い風が吹くことを期待しております。

さて、インターネット上に違法に置かれている映像の多くは、DVDやブルーレイから違法にリッピングされたものです。当協会では、この違法なリッピングの防止を目的とした「アンチリッピングキャンペーン」を2015年から開始しました。昨年秋からは、多くの会員社が協力し、レンタル用作品の冒頭にキャンペーントレーラーを挿入して、レンタルユーザーに「リッピング」の違法性を告知していく活動を始めました。こういった活動は業界全体で取り組んでいきたいと思えますので、関係各位のご協力を引き続きお願い申し上げます。また違法コンテンツの問題は、日本国内のみならず世界においても深刻化しています。世界各国の共通の問題に取り組む機関と協力しワールドワイドな対策に取り組んでいる「コンテンツ海外流通促進機構 (CODA)」や、国内の不正商品や海賊版の流通防止のために活動している「不正商品対策協議会 (ACA)」とも連携し、今後もこの問題に対処していく所存です。関係官庁や関係団体の皆様にも、引き続きご支援、ご協力をお願い申し上げます。

2015年の大きな出来事のひとつとしては、「TPPの大筋合意」がありました。映像コンテンツ業界に係る事項としては、「著作物等の保護期間の延長」「著作権侵害罪の一部非親告罪化」「法定損害賠償または追加的損害賠償制度」などが挙げられると思えます。これらについては、今後、文化庁を中心にして国内法整備のための著作権法改正に向けた動きが活発化することと思えますが、機を捉えて、当協会の意見、要望を発信し、理解を得ていくよう努める所存です。

今年も様々な課題が山積している中、新しい年を迎えることとなりましたが、業界にとって明るい1年となりますことを心から祈念しつつ、協会運営に取り組んでまいります。会員社をはじめ、関係各位の皆様にも今年も変わらぬご厚情を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

2016年 新年賀詞交歓会 盛大に開催

2016年1月6日（水）午前11時30分より、千代田区市ヶ谷の「アルカディア市ヶ谷（私学会館）」において、2016年の新年賀詞交歓会が開催された。当日は新春の暖かな陽気のなか、会員社をはじめ関係官庁、関係団体、報道の皆様他、約500名の方にご来場いただき盛大な会となった。

冒頭に、桐畑敏春会長（株）ポニーキャニオン取締役相談役）から新年の挨拶があった。挨拶では、「近い将来、次世代技術を取り入れたよりハイクオリティな映像環境が普及していけよう、我々映像コンテンツ制作に携わる者としても、この技術革新を取り入れてビジネスチャンスに結びつけていきたい」と新年の意気込みを語った。

続いて、ご来賓の経済産業省大臣官房審議官（IT戦略担当）竹内芳明様、文化庁長官官房審議官磯谷桂介様、警察庁生活安全局生活経済対策管理官津田隆好様からご挨拶を頂戴した。続いて、内閣官房知的財産戦略推進事務局次長増田義一様に乾杯のご発声をいただき宴の開幕となった。

また会場内では、DEGジャパン（デジタル・エンターテインメント・グループ・ジャパン）とパナソニック（株）にご協力を頂き、65インチの4KテレビとUltra HD Blu-ray再生機を設置、4K・HDR映像のデモンストレーションが行われた。来場者は超高画質映像に興味深く見入ったり、同社からご参加いただいた技術担当者に質問するなどして、次なるビジネスチャンスに向けて関心を寄せていた。

中締めは、島谷能成副会長（東宝（株）代表取締役社長）より挨拶の後、一本締めで締めくくり閉幕となった。

▼新年の挨拶をする桐畑敏春会長



来賓ご挨拶

経済産業省 大臣官房審議官（IT戦略担当）

竹内 芳明 様



皆様、明けましておめでとうございます。年始に当たりまして高い席からではございますが一言ご挨拶を申し上げます。日本経済は、今、非常に好調な状況でございます。まだ十分に実感できていないという声もお聞きいたしますが、企業収益は過去最高を記録し、数字で見ると非常に良い業績となっております。また、賃上げ率をみましても17年ぶりの高水準に達しております。この経済の好循環を確かなものとするためにも、賃上げや価格転嫁、そして技術・人材・設備への投資が重要だと考えております。もちろん各社のご事情はあるかと十分に承知しておりますが、是非とも本日ご出席の皆様のお力添えを頂きたいと考えております。

さて、映像ソフト産業は、先程、桐畑会長からご紹介がございましたが、今大きな変化のまっただ中にあるということでございます。特に4K、あるいは8Kを含めて新しい技術を取り入れた映像ソフトをどうやって作っていくのか、端末の普及を含めてどう取り組んでいくのかという問題。そしてネット配信といった新しいサービスの提供形態に対してどういったかたちで取り組んでいくのかという、非常に大きな課題が突きつけられているわけでございます。しかしながら、この変化は、懸念材料である一方で大きなチャンスでもあると考えております。この変化をチャンスと

して捉え、皆様の業績がプラスとなるようにどのように対応していくのか、私共としても一緒に考えて参りたいと考えております。

特にコンテンツの海外展開については私達としても最大限支援していきたいと考えて参りまして、今年度の補正予算として67億円を計上し、コンテンツのローカライズあるいはプロモーションを強力に支援させて頂きたいと考えて参ります。こういったコンテンツのグローバル化にあたっては、やはり海賊版対策が大変重要になって参ります。コンテンツ海外流通促進機構（CODA）を始めとした関係機関としっかり連携して、対策を強化して参りたいと考えて参ります。

この映像ソフト産業は、他の産業にも非常に密接に関連する重要な産業分野でございます。これから経済を成長軌道に乗せていくためにも、この産業に期待されている役割は非常に大きく、ここにお集まりの皆様と力を合わせて一緒に取り組んでいきたいと考えて参ります。どうぞこの平成28年、皆様にとっても、そして日本経済全体にとっても飛躍の年となるように祈念しまして、挨拶とさせていただきます。本日は有難うございました。

▼恒例の理事・監事によるお出迎え



▲4K・HDR映像のデモンストレーション



▲約500名の皆様にご参集いただき盛大に開催された

来賓ご挨拶

皆様、明けましておめでとうございます。ただいまご紹介いただきました文化庁長官官房審議官の磯谷（いそがい）と申します。

まずは、日本映像ソフト協会の桐畑会長をはじめとする会員企業の皆様方におかれては、日頃から著作権の保護・活用あるいは海賊版流通への対策等々、ご尽力をいただいておりますことを心より御礼申し上げます。

先ほど会長からもお話がありましたように、デジタル・ネットワーク社会の進化はとどめようもない、どんどん技術は進歩し、それに対応するソフトはどうするか、あるいは対策をどうするかということで、業界も政府も頭を悩ませながら前進しているのが実情かと思っております。

著作権の関連で申しますと、我が国は文化技術立国、知財立国、そしてクールジャパン戦略ということで、次々と政府の方針を定めており、例えば昨年5月に閣議決定としました「第4次文化芸術の振興に関する基本的な方針」があります。これは、昨年度から東京オリンピック・パラリンピック開催の2020年までの5年間で、著作権制度の整備も含め、どのように日本の文化芸術を振興させていくかという方針を決定したものです。あるいは、毎年「知的財産戦略」を策定するわけですが、その中でもデジタル・ネットワーク社会の進展に伴う著作権制度についてしっかりと整備し、改革をしていく事が位置づけられています。文化庁では、昨年7月に「著作権等の利用円滑化のためのニーズ」について業界などを対象に募集させていただきました。それらを踏まえて、新たな時代のニーズに的確に対応した権利制限規定ですとか、あるいはライセンス体制の在り方について検討を行うために文化審議会の中にワーキング

文化庁長官官房審議官 磯谷 桂介 様



を設けて精力的に検討しているところでございます。

また、昨年は、大きな一歩としてTPPの大筋合意がなされましたが、その中で著作権保護期間の延長ですとか、著作権侵害罪の一部非親告罪化などが盛り込まれております。文化庁としても知財本部などと連携しながら制度改正、法改正に向けての検討を鋭意進めております。

さらに今年はリオデジャネイロオリンピックが開催され、それを契機によいよ2020年までの4年間のオリンピックアードが始まります。文部科学省は関係省庁と連携しながら、今年の秋に「スポーツ文化ワールドフォーラム」を東京六本木と京都で開催する予定です。映像ソフト関係の皆様にもご協力をお願いしているところでございます。

今後、2020年に向けて、文化芸術立国を実現するために組織委員会、あるいは地方自治体、関係省庁とも連携しながら、官民あげての文化芸術の振興をすすめていきます。「文化プログラム」を全国津々浦々で展開し20万件のイベントを目標に推進してまいります。是非、コンテンツ映像関連の企業の皆様方にもご協力をいただいて、文化芸術の振興によってクールジャパンや観光立国、地方創生に貢献し、いわば文化GDPを増やしていくようなことを積極的に進めていきます。

結びに、本日ご参集の皆様のご健勝と日本映像ソフト協会の今後ますますのご発展を祈念いたしまして年頭の挨拶とさせていただきます。どうも有難うございました。

新年賀詞交歓会

▼会場のあちこちで明るい笑顔があふれた



▼乾杯の発声をする内閣官房知的財産戦略推進事務局次長 増田義一様



来賓ご挨拶

警察庁生活安全局 生活経済対策管理官
津田 隆好 様



新年あけましておめでとうございます。警察庁生活経済対策管理官の津田でございます。皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたことと、心からお慶び申し上げます。

今日は、一般社団法人日本映像ソフト協会、新年賀詞交歓会にお招きいただき、有難うございます。

また、貴協会におかれましては、平素から知的財産権の保護と不正商品の排除に向けた広報啓発活動にご尽力されておられますことに対し、心から敬意を表するものであります。

さて、最近の著作権侵害事犯の傾向は、皆様もご存じのとおり、インターネットを利用した事犯が大半を占めております。まだ年頭につき、昨年1年間の統計は集計できておりませんが、昨年上半期の検挙事件を見ますと、その約9割がインターネットを利用したものでした。中でも、ファイル共有ソフト等を利用して音楽や映画を不正に公衆送信する事犯が多く見られました。また、ネットオークションにおける海賊版DVDの販売事犯も、依然として見られるところです。

警察としては、これらのうち悪質な事犯を中心に取締りを推進しておりますが、取締りには、皆様方のご協力が不可欠であります。これまで、情報提供や鑑定などにより事件検挙に御

協力いただいておりますが、引き続き、御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、知的財産権の侵害を防ぐためには、「不正商品を買わない。」という国民の意識を高めることも重要であります。昨年11月には、千葉県内のショッピングモールにおいて、貴協会も加盟されている不正商品対策協議会主催により「ほんと？ ホント！フェア」が開催され、幅広い年代の方々に不正商品の撲滅を訴えることができたと感じているところです。警察といたしましても、引き続き、国民の知的財産権に関する意識の向上を図るため、皆様方をはじめ関係機関・団体の広報啓発活動に対し、支援を行っていきたく考えております。

最後になりましたが、本日ご参会の皆様方のご多幸と貴協会の益々のご発展を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。





▲年頭の挨拶をする桐畑敏春会長



▲中締めの挨拶をする島谷能成副会長



▲司会をお務めいただいたフジテレビの藤村さおりアナウンサー



来賓ご挨拶・乾杯

内閣官房知的財産戦略推進事務局次長
増田 義一 様



新年あけましておめでとうございます。ただいまご紹介いただきました内閣官房知的財産戦略事務局の増田でございます。大変僣越でございますけれども、ご指名をいただきましたので乾杯の音頭を取らせていただきます。

先ほどのご挨拶にもありましたが、昨年、TPPが大筋合意されまして、いろいろな規定が盛り込まれましたが、知的財産の部分を見る限り、貴協会の活動をまさに後押しするような内容になっているというように理解しております。政府では、クールジャパン戦略を推進しておりますが、皆様方に様々なコラボレーションをしていただくということで、昨年の暮れに

「クールジャパン官民連携プラットフォーム」というものを設立いたしました。その他にも政府の施策として様々なものがありますが、是非そのすべてを活用していただき、皆様が高く飛躍していただければと心からお祈りいたしております。

それでは、日本映像ソフト協会の益々のご発展と、本日ご参集の皆様のご健勝を祈念いたしまして乾杯したいと思います。ご唱和をお願いいたします。乾杯。





中締め

日本映像ソフト協会副会長 島谷能成
(東宝(株) 代表取締役社長)



皆様お疲れ様でございます。長時間お付き合いいただきまして有難うございます。

昨年の日本の映画界の話なのですが、ご承知のとおり大変な大豊作の年で、ウィンテージイヤーとなりました。日本の映画界は年間2000億円くらいの興行収入で推移していますが、昨年は、いわゆるODSのコンテンツを含めて2150億くらいまで行くのではないかと思います。これは、2000年代になりまして歴代2位だそうです。昨年は、夏の興行が大成功しまして、邦洋ともに様々な作品がそれぞれ個性的な花を咲かせてくれました。また、「スターウォーズ」が期待通りの成績で現在も幕進中で北米では史上最速で700ミリオンダラーに到達したということ。遅くとも、1月上旬には北米興行で歴代1位になると言われています。全世界でも累計15.1億ドルで、現在6位だそうです。今後これに中国の興行が加わることになるので、「アバター」の全世界興行1位の27億8800万ドルにどう迫るかという勢いとなっています。

映画が当たれば当然その後、パッケージのウィンドウに跳ね返ってきます。それだけではありません。「スターウォーズ」が10年ぶりにまた3作やって来る、その間に映画ファン、映像ソフトファンが世界中で増え続け、この人たちが必ず我々の業界にもう一度帰ってきます。ウチの家内もこれまで「スターウォーズ」を見たことがなかったのですが、今度の作品を見まして、エピソード4から始まり、過去の6作を全部見たいと言いまして、レンタル屋に走りました。まだ、ネットフリックスに入っておりませんので(笑)。また、このようにお客さんが増えるということと同時に、今度の「スターウォーズ」を見た

若者たちの中から、次のスピルバーグ、ルーカスが、J・J・エイブラムスがまた出てきます。大変ありがたいことだと思っております。

冒頭に桐畑会長からありましたが、JVAの昨年のパッケージの出荷統計数字は前年の95%ということですが、僕は下げ止まってきていると思っています。確かに動画配信は大変な勢いで広がっておりますが、どこかで必ずいいつり合い、いいバランス、市場調整が出てくると僕は信じております。映画界もかつて映画館だけの商売だったものが、VHSのレンタルが出てきたり、テレビの無料オンエアが出てきたりしましたが、必ず最終的にはいいバランスに落ち着くものだと思います。パッケージと配信、これは共存していけることははっきりしています。そこで我々が考えなければいけないのは、パッケージの世界のマーケティングをこれからも一生懸命やっていくということと同時に、パッケージというものは、作った人たちが映画とかテレビにオンエアするよりは簡単に発表できる場なので、いろんな若者たちにトライする場所を与えて、新しい才能がどんどんチャレンジできるような場を作ることだと思います。この業界の中からまた新しい作家、才能が開くように今年も一年、皆さんと汗をかいてやっていきたいと思っております。

それでは、気合を入れて一本で締めたいと思っております。ご唱和ください。

西日本合同賀詞交歓会

2016年西日本合同賀詞交歓会を開催

去る1月12日(火)12時30より、ホテルグリーンプラザ大阪にて、JVA、関西地区連絡協議会、中部地区連絡協議会、CDV-J(日本コンパクトディスク・ビデオレンタル商業組合)共同主催、西日本合同賀詞交歓会を開催した。これまでは、中部地区、関西地区が別々に開催していたが、本年よりCDV-Jも加わり、映像ソフトに係わるメーカー、流通、ショップ各社が一堂に会する催しとなった。

当日は約60名が参加した。始めに、桐畑敏春会長(株)ポニーキャニオン取締役相談役)より「ビデオソフトの出荷実績も下げ止まってきたと感じている。今年は対前年比100%以上となるようメーカーはもちろん、流通の皆様との協力をいただきながら頑張っていきたい」と年頭の挨拶があった。続いてCDV-J副理事長の梶喜代三郎氏(株)カジ・コーポレーション代表取締役社長)より乾杯のご挨拶と発声を頂いた後、業界の現状や今後の展望など活発な意見交換がされ、賑やかな雰囲気の中で歓談をした。最後は東映ビデオ(株)代表取締役社長間宮登良松氏より中締めのご挨拶を頂き、一本締めにて今年一年の業界の発展を祈念しつつ、盛況のうちに閉会した。



▲年頭の挨拶をする桐畑会長

▼乾杯の挨拶をした CDV-J副理事長の梶氏



▼中締めの挨拶をする 東映ビデオ(株)間宮社長



第350回定例理事会開催報告

第350回定例理事会は、12月2日（水）14時より協会会議室において開催された。

議事の要旨は次のとおり。

- 第1号議案 2015年下期賞与支給額（案）承認の件…承認
- 第2号議案 「第6回ビデオ屋さん大賞」に対する後援名義使用申請の件…承認
- その他、報告事項は次のとおり。

1. 各分会報告について
2. 2016年度会費算定について
3. jmd映像作品登録状況について
4. 各審議会等審議状況について
5. 2015年10月度ビデオソフト売上速報について
6. 2015年10月度映像配信統計報告について
7. その他

統計調査委員会

映像ソフト市場規模及びユーザー動向調査2015について

統計調査委員会（小野里康雄委員長（株）ポニーキャニオン）は、本年度もDEGジャパン（デジタル・エンターテイメント・グループ・ジャパン）と合同で、『映像ソフト市場規模及びユーザー動向調査』を実施する。

本調査は、2015年の1年間（1月から12月）に、日本国内の消費者（16～69歳の男女）のビデオソフト（DVDとブルーレイ）の購入とレンタルの消費動向と有料動画配信の利用状況についてインターネットを利用して調査するもので、パッケージ映像ソフトと有料動画配信のユーザーレベルの市場規模を推計することを目的としている。

昨年は映像配信市場に大きな動きがあり、その動向が注目される場所である。今回調査では、サービス形態が多様化し利用状況の変化が予想されることから、有料配信動画サービスの利用者の定義についてのスクリーニング設問を変更し、またサービス名の追加、変更を行った。その他にも、4Kテレビの所有についての設問を加えた。

1月に調査を実施し、調査結果の発表は本年4月を予定している。

アンチリッピングキャンペーン トレーラー収録作品数について

当協会は、アンチリッピングを訴える「サラリーマン山崎シゲル」のオリジナル動画を、会員各社のリリースするレンタル商品にトレーラーとして収録するキャンペーンを昨年の秋から開始しているが、広報委員会（田中勇委員長 キングレコード(株)）では、四半期毎に収録作品数を記録していくこととした。2015年9月～12月の期間の収録作品数は192作品となった。

2015年12月現在、トレーラー収録に参加している社は以下の17社。

(株)アニプレックス／エイバックス・ピクチャーズ(株)／(株)エスピーオー／(株)KADOKAWA／ギャガ(株)／キングレコード(株)／松竹(株)／東映ビデオ(株)／東宝(株)／20世紀フォックスホームエンターテイメントジャパン(株)／日活(株)／(株)博報堂DYミュージック&ピクチャーズ／(株)バップ／(株)ハピネット／バンダイビジュアル(株)／(株)ポニーキャニオン／ワーナーエンターテイメントジャパン(株)

同トレーラーのキャンペーンは今後3年間程度継続していく予定であるが、広報委員会では、現在未参加の社にも引き続き協力を要請していくこととしている。

総務人事委員会

第7回総務人事委員会開催報告

総務人事委員会（枇榔浩史委員長 東宝(株)）が、11月25日(水)JVA会議室にて開催された。冒頭に来年度の新社員合同研修会の準備についての経過報告を行い、続いて「時間外労働時間の削減対策について」をテーマに各社の取組み状況の報告等情報交換を行った。

各社の状況として、「フレックスタイム制度」や「裁量労働制度」を導入し、業務内容や生活環境に合う働き方を選択することで時間外労働時間を削減する試みや、web出勤表を導入し就労時間の管理を徹底することで、勤労環境の把握に努める施策等について報告があった。その他、ノー残業デー、朝方勤務、有休休暇の時間遣い、リフレッシュ休暇等の様々な施策が報告された。

委員からは、この業界では制作、宣伝、イベント、海外での買付け等、業務の内容によりどうしても拘束時間が長くなったり不規則になったりせざるを得ない。その業務内容を精査し労働環境を改善することが重要であり、それが結果として時間外労働時間の削減に繋がるのではないかという意見が出た。他にも、なかなか聞く機会の少ない他社の取組みに対し活発な質問や意見が出された。

「クールジャパン官民連携プラットフォーム」への加盟について

11月10日（水）開催の理事会において、当協会の「クールジャパン官民連携プラットフォーム」への参加が承認された。

このプラットフォームは、日本文化を海外に発信しようというクールジャパン戦略のより一層の推進を目的として、官民・業種の垣根を越え、コンテンツ企業と非コンテンツ企業の連携等を進める場（プラットフォーム）として創設されたもので、本年1～6月に開催された「クールジャパン戦略推進会議」において提言され、「知財計画2015」や『「日本再興戦略」改訂2015』にも盛り込まれている。

12月15日（火）には設立総会が開催され、共同会長である島尻安伊子クールジャパン戦略担当大臣、川上量生氏（カドカワ㈱代表取締役社長）、長榮周作（パナソニック㈱代表取締役会長）らが出席し、島尻担当大臣は冒頭の挨拶で、「クールジャパンを広げていくには、官民連携、異業種連携など連携が重要なキーワードになる」と述べた。

事業内容は、（1）官民の取組みの情報共有、（2）ビジネスプロジェクトの組成、（3）政策課題等の検討、（4）その他のプラットフォームの目的を達成するために必要な事業、としている。主な活動としては、異業種を結びつけるマッチングフォーラムを年2回程度開催する他、ポータルサイトやSNS等を活用した官民の情報の交換や共有、定例ワークショップ等のイベントを実施する予定である。

同プラットフォームに参加している民間団体は次の45団体。

（一社）衛星放送協会／NPO法人映像産業振興機構／NPO法人エンターテインメント・ロイヤーズ・ネットワーク／（一財）音楽産業・文化振興財団／（一社）キャラクターブランド・ライセンス協会／コミック出版社の会／（一社）コンピュータエンターテインメント協会／（一社）次世代放送推進フォーラム／（一社）CIP協議会／（一財）食品産業センター／全国商工会連合会／（一社）全国旅行業協会／（一財）デジタルコンテンツ協会／（一社）デジタルメディア協会／（一社）電子情報技術産業協会／（一財）伝統的工芸品産業振興協会／（一社）日本アパレル・ファッション産業協会／（一社）日本映画製作者連盟／（一社）日本映像ソフト協会／（一社）日本オンラインゲーム協会／（一社）日本家具産業振興会／（一社）日本ガストロノミー学会／（一社）日本玩具協会／（公社）日本観光振興協会／（一社）日本経済団体連合会／（一社）日本ケーブルテレビ連盟／日本化粧品工業連合会／（一社）日本広告業協会／（一社）日本雑誌協会／日本酒造組合中央会／日本商工会議所／（一社）日本書籍出版協会／日本チェーンストア協会／（公財）日本デザイン振興会／（一社）日本動画協会／日本百貨店協会／（一社）日本フードサービス協会／（一社）日本フランチャイズチェーン協会／（一社）日本ベンチャーキャピタル協会／日本放送協会／（一社）日本民間放送連盟／（一社）日本旅行業協会／（公財）フォーリン・プレスセンター／（一社）放送コンテンツ海外展開促進機構／（一社）モバイル・コンテンツ・フォーラム

また、民間企業・機関・個人としては、㈱KADOKAWA、東映㈱、東宝㈱、松竹㈱等の33の企業・機関と23名の個人が参加している。

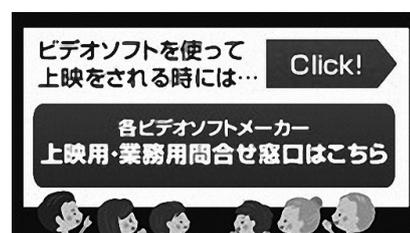
広報委員会

協会 HP に上映用・業務用の利用についてバナーを設置

この度、協会ホームページのトップに、上映用・業務用の利用についてのバナーを新たに設置した。

このところ、市販のビデオソフトを使った上映や業務での利用について事務局への問合せが増えている。その際には、市販のビデオソフトは家庭での視聴を目的としたお客様に頒布先が限定されているため、公の上映や業務でご利用頂く場合には著作権者である各ビデオソフトメーカーに直接お問合せいただくよう説明している。しかし、頒布権等馴染みの薄い用語に、ご理解頂くまで時間がかかる場合が多々あった。そこで、こういったニーズをもった消費者の方が、スムーズに説明内容にアクセスしていただけるよう、協会ホームページのトップページに「上映用・

業務用」について案内するバナーを設置した。また、Contents Index欄にも「上映・業務用をご利用になるには」を新たに設けた。このページでは、上映や業務利用について簡潔に説明、その次のステップとして利用方法によって更に詳しい説明ページに移動できるようになっている。



▲トップページに設置したバナーデザイン

jmd社 映像データベースの作品登録状況

DVD・ブルーレイの販売プロモーションを目的に、2004年の12月から映像作品のデータベースの蓄積作業の協力を依頼している(株)ジャパンミュージックデータ(jmd)より、蓄積作業とその活用が順調に行われていると報告があった。2015年11月時点の映像関連登録作品数は350,677件、ジャケット登録数は151,712件となった。

JVA加盟正会員社の一般市販映像商品のタイトル登録も86,284件と昨年からプラス7,711件と順調に推移している。

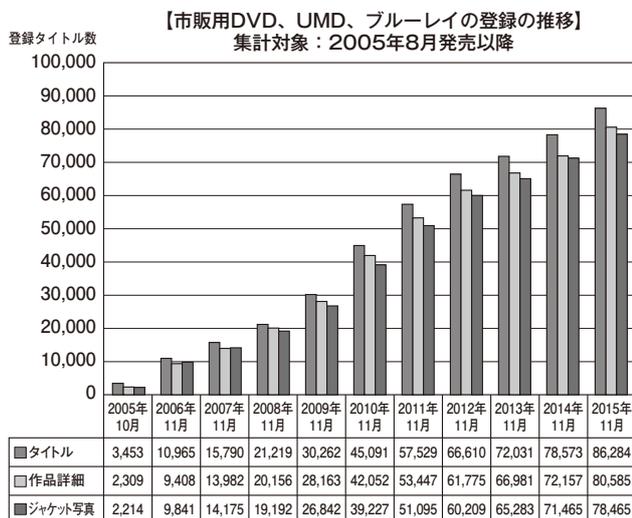
2015年の時点でjmd映像データ提供先は57社となり、本年は(株)ディスクユニオン、オリコン・リサーチ

(株)の2社が加わった。また、星光堂を經由して(株)DMM.comや(株)ヤマダ電機など13社のサイトでもjmd映像データが活用されている。

登録状況は以下のとおり。2015年11月現在で、JVA加盟社のDVD、UMD、ブルーレイ商品の一般市販映像商品登録数(音楽作品除く)は86,284タイトルとなった。作品詳細は93.4%、ジャケット写真は91%が登録されている(資料1)。また、ブルーレイの一般市販映像商品(音楽作品を除く)数は16,407タイトル(前年登録数13,511、前年比121%)となりブルーレイの登録伸び数は年々増加傾向にある(資料2)。

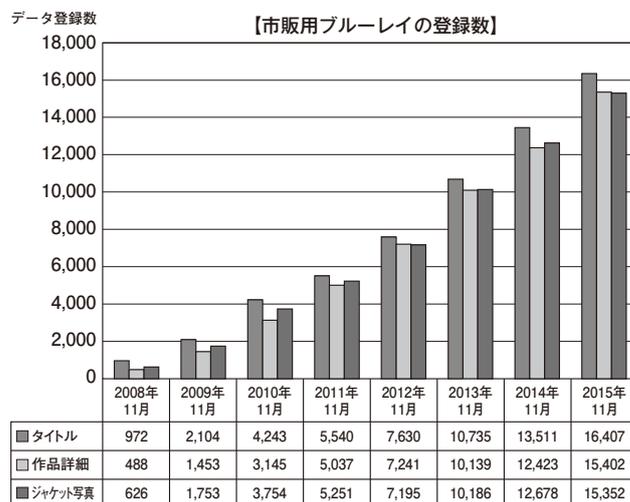
資料1

- ◆データ抽出日：2015/11/11
- ◆対象商品：JVA正会員社の一般市販映像商品 (DVD、UMD、ブルーレイ)
- ◆対象外：音楽、アダルト、レンタル専用商品、廃盤、権利切れ商品



資料2

- ◆データ抽出日：2015/11/11
- ◆対象商品：JVA正会員社の一般市販映像商品 (ブルーレイ)
- ◆対象外：音楽、アダルト、レンタル専用商品、廃盤、権利切れ商品



【集計対象の変更】2008年、2009年、2010年の実績には「JVA非加盟社」「音楽」「アダルト」のデータが含まれます。

著作権関連

COPYRIGHT

「柔軟性の高い権利制限規定」をめぐる動向について

会報171号(2015年8月号)で紹介した通り、「知的財産推進計画2015」に「柔軟性の高い権利制限規定」の検討が盛り込まれた。

それを受けて知的財産戦略本部では、「次世代知的財産システム検討委員会」を設置した。文化庁でも著作権分科会法制・基本問題小委員会に「新たな時代のニーズに的確に対応した制度等の整備に関するワーキングチーム」を設置し、両者ともすでに3回の会合が開催されている。

「次世代知的財産システム検討委員会」では、「大量の情報集積・活用型ビジネスと著作権制度」及び「自動集積されるデータベースの取扱い」についての審議が行

われている。前者については情報集積とそのアウトプットに関し著作権の制限の必要性の有無、後者については「情報の選択又は体系的な構成によって創作性を有するもの」(著作権法12条の2第1項)に該当しないことからその保護の必要性の有無が検討されている。

文化庁のワーキングチームでは、7月のニーズ募集で寄せられた114の意見のうち「情報所在検索サービス」「分析サービス」「バックエンドでの複製」「CPS(Cyber Physical System)」等、知的財産戦略本部での「大量の情報集積」と共通の課題が優先的に検討されている。

「第4回著作権を守ろう!ポスターコンクール」最優秀賞が決定

不正商品対策協議会（ACA）では、著作権を保護することの重要性を若年層に広く知ってもらうことを目的に、「第4回著作権を守ろう!ポスターコンクール」を実施した。警察庁、文部科学省の後援のもと、昨年の夏から秋にかけて全国の小学校4年生から中学生を対象に公募し、39校より合計115作品の応募があった。警察庁、文部科学省、ACAによる厳正な審査の結果、入選5作品を決定し、昨年11月8日（日）に実施した当協議会主催の不正商品撲滅キャンペーン「ほんと?ホント!フェアin千葉2015」にて最優秀賞受賞者、優秀賞受賞者を招待し、表彰式を行った。

最優秀賞作品を受賞した福原すみれさんのポスターは、「受賞作品ポスター」として制作され、都道府県教育委員会など関係各所に配布されたほか、ACAが実施する各種啓発事業でも活用していく予定。

著作権侵害をはじめとする知的財産権の侵害は、デジタル・ネットワーク化の進展により、いまや国際的な問題のひとつとなっている。その侵害防止策のひとつとして、小学生、中学生といった若年層から著作権の保護に対する認識をもつことが重要となっていることから、これからも当協議会では若年層の啓発に力を入れていく。

（執筆：ACA事務局）

▼最優秀作品賞の福原すみれさんの作品を基にしたポスター

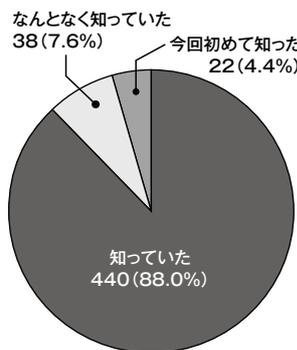


不正商品に関するアンケート「知的財産権の大切さ、理解されていますか？」

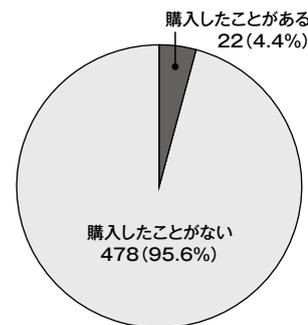
不正商品対策協議会では不正商品に関する意識を調査するために、1986年の設立当初よりアンケート調査を実施している。2015年度は、千葉県市川市のショッピングモールで11月に開催した、広報啓発イベント「ほんと?ホント!フェアin千葉」において調査を行った。不正商品に関する理解は年々進んでおり、「不正商品を購入することは悪くない」「悪いと思うが購入する」という消費者が調査開始当時は約30%もいたが、徐々に減少してきている。しかし現在でも5%程度いるという結果となった。

（執筆：ACA事務局）

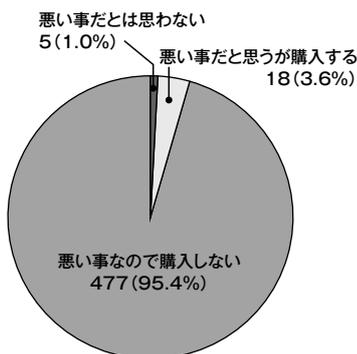
Q:あなたは、不正商品（コピー商品）の存在を知っていましたか？



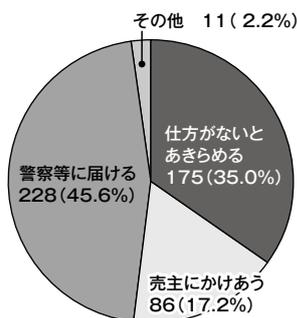
Q:あなたは、不正商品と思われる物を購入したことがありますか？



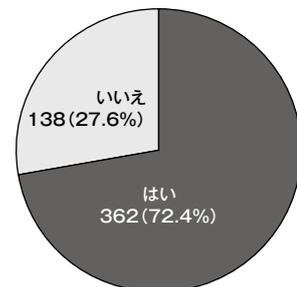
Q:あなたは、不正商品とわかっている商品を購入することについてどのように思いますか？



Q:あなたは、偽物だと知らずに購入した商品が、もし偽物だとわかった場合どうしますか？



Q:インターネットオークション等で不正商品が多く出品されていることをご存知ですか？



2015年11月「ほんと?ホント!フェアin千葉」アンケート調査 (500サンプル) より

米国、MPAA本部や関連機関を訪問

2015年11月5日～11日にかけてCODAはアメリカを訪問し、MPAA/MPA本部や関係機関などに対し、CODAが新規に取り組んだ以下の対策について、報告を行った。

●ドメイン差押え

9月、CODAは、日本コンテンツを大量に侵害する悪質サイトのドメイン2件に対するドメイン差押えをニューヨークの弁護士事務所を通じ、申請窓口の「米国的財産権センター（IPR Center）」へ申し立てた。今回、その状況確認のため、弁護士事務所とIPRセンターも訪問した。IPRセンターでは担当者の他に司法省付きの検事までが会議に参加し、さまざまな意見交換を行った。

「ドメイン差押え」は、米国でオンライン上の権利侵害に対し成果を挙げている権利行使のひとつであり、海賊版や偽ブランドを販売する権利侵害サイトに対し、米国発行のドメインである「.com」、「.net」、「.org」等が使用されている場合、権利者等の申し立てにより、当局が当該ドメインを強制的に差し押さえる制度である。その結果、サイトへのアクセスは不能となり、代わりにドメイン差し押さえに関する告知が当該サイトに表示される。MPAA/MPAでは過去に「NinjaVideo」や「Megaupload」に対して同制度を活用し閉鎖に追い込むなど大きな成果を挙げている。

▼ワシントンDCのIPR Center訪問の様子



●国境を越えて著作権を侵害するアニメサイト

サイト運営者、サーバーの所在地、そしてドメイン登録地が各々異なる国に所在する悪質サイトに対し、CODAは海外弁護士事務所を通じて刑事手続に着手した。MPAとの意見交換に際して、MPAオンライン担当者が同サイトにアクセスしたところ米国内では視聴できないよう自主的にリージョンブロックが施されていた。この話が象徴するように、侵害拠点は米国内には存在

せず海外へ逃避し拡散している。国境を越える権利侵害に対して、MPAはこの10月から新たな体制として、MPA本部が世界のMPA支部が取り組むオンライン侵害対策を一括管理し、本部の陣頭指揮のもと迅速に対処していくとのこと。CODAの刑事手続についても、現地支部を含めた支援を約束した。

●MovieLabsとの業務提携

MPAA構成メンバー6社が出資しオンライン上の技術検証や次世代フォーマットの研究などを行っているシネクタンク「Motion Picture Laboratories, Inc. (MovieLabs)」は、その活動の一環として、全世界で流通するBitTorrentファイルの全データを5年前より収集・保管しており、コンテンツのダウンロード実態を把握している。それらのデータを解析し、コンテンツ毎に、国・地域別に侵害ファイル数を可視化（グラフ化）しており、コンテンツのタイトル名を指定し検索すると、中国、台湾、ブラジル、日本など世界中の国・地域別に被害数値が瞬時に表示される。MPAAメンバー社は、この可視化データを活用し、侵害実態の把握とともにどの国・地域でいつのタイミングで需要があるか否かといったマーケット戦略の参考にしている。CODAは本年7月に同社と業務提携の契約を締結し、今後、ハリウッド作品と同様に日本コンテンツである放送番組、アニメ、映画等の全世界における被害実態について可視化を行っていく予定である。今回は、サンフランシスコのMovieLabsを訪問し、その作業を行う上での調査システムの利用方法や今後必要となる機能等についてすり合わせを行った。

なお、MPAAとのミーティングでは、Chris Dodd会長とも面会し、日米それぞれの著作権侵害の現状やその具体的対策について意見交換を行い、今後も連携強化していくことをお互いに確認した。

▼ワシントンDCのMPAA訪問の様子



(執筆：CODA事務局)



リレーエッセイ 117

東洋レコーディング(株) 佐藤 公彦 氏からのご紹介

●篠木 雅博 氏(株)徳間ジャパンコミュニケーションズ代表取締役社長)

「銭湯珍事件」

僕は休日になると、町内にある銭湯に行く。広い湯船でゆっくりできるのがいい。

湯船の中での屈伸運動が、浮力があるから楽にできる利点がある。腰のひねり、手首、足首の柔軟性を高めるためには、最高の場所です。特に年齢を重ねてくると、実感としてよくわかるようになる。

最近の銭湯はサウナもついているから、僕は必ず入る。そのうち、顔見知りになり、色々な話題が飛び交い、勉強になることも多い。年配の方が多いため、健康、年金、再雇用、競馬、麻雀、スポーツ等々、さらには町内の冠婚葬祭にいたるまでだから、中々面白い。サウナ室は室温90度以上あり、長時間いられないから、人が長々としゃべらないのもいい。顔見知りになってくると、話題も増えてくる。僕が色々聞いた話で、これはという話を紹介したいと思います。

僕の住んでいる杉並は毎週水曜日、65歳以上の人は、通常料金460円のところ100円で入れてくれる。時間は二時間。銭湯によって曜日のばらつきはあるが、該当する人達にとっては有難い話。けれど、いい話ばかりではない。その百円で入れる水曜日は年配のお客でいっぱいになるが、問題もあるらしい。

それは、湯船の中で起こった。

かなりの年配の方が、お湯につかっていい気持ちになり、肛門の方も緩んでしまって脱糞する人が時々いるらしい。なかには、着替えしながら長いすい脱糞して、後始末せずそのまま入り、鏡にむかってぶつぶつ独り言の老人もいるらしく、注意するのも聞こえなくて異様な雰囲気だったという。銭湯の人が慌てて掃除したらしい。だから、あの長いすいには座らない方がいいと教えてもらった。そんな事件にでくわした人は、水曜日には来なくなったとの事。年をとると子供に戻ると言われるが、他人事ではありません。そうならないように電車に乗るときは、つま先で立って肛門を閉めることをおすすめしたい。

聞いているぶんにはおかしくて、笑ってしまいが、他人事とは思わず参考にしたほうがいいと思う。

ウンコ事件その二、小学生低学年の子供が、湯船で悪ふざけしているうちに、勢いあまってウンコをしてしまう事が多いらしい。顔なじみのSさんが言う。「しょうがないから手で拾って処理したけど、下痢をしていたら大変だった」と、笑って話す。

僕にも過去に体験がある。学生時代酔っ払った先輩が友人宅でお風呂に入り、あとから入った僕は変な匂いがすると気がついたら、目の前に先輩のウンコが浮いていたことも経験している。意外とよくあることかもしれない。その後、運がつくということとはなかった。

話題をかえて、もう一つ。サウナの後に、水風呂に入るのは、ことのほか気持ちいい。夏場の水温は23度前後だが、冬場になると、17度近くになる。心臓、血圧に問題がある人は気を付けた方がいい。寒暖の差があるから、倒れる人もいる。僕の後輩も、血圧が高かったから、三十分くらいずっとまっただま、動けなかった。

最後にサウナから出た僕が水風呂に入っている時に聞いた小学校四、五年生くらいの子供の会話を紹介したい。

冷たい水風呂に躊躇して、足だけ入れているから、ちょうど僕の目線に彼らの小さなラッキョがプルプルしているのを、目のあたりにした。

「僕がこの冷たい水に潜ったらコーヒ牛乳おごってくれ」と一人が言うと、「いや、僕がきみの倍、潜ったらおごってくれよ」と言い返す。

「じゃあ、君はいくらもっているの」「60円だよ」と答える。

「じゃあ駄目だよ」ということになった。

二人の会話があまりに可愛いので、二人に120円のコーヒ牛乳をおごってあげたくなった。ということで、銭湯は僕にとっての憩いの場所でもある。

▼日誌に見る協会の動き

【12月】

2日 定例理事会

マーケティング委員会

4日 著作権部会

7日 ユーザー動向調査DEG合同会議

8日 総合連絡委員会

9日 広報委員会

11日 業務使用対策委員会

14日 ACA企画広報部会

15日 下半期統計調査担当者説明会

クールジャパン官民連携プラットフォーム設立総会出席

17日 統計調査委員会

21日 関東管区警察学校講師派遣

28日 仕事納め

統計

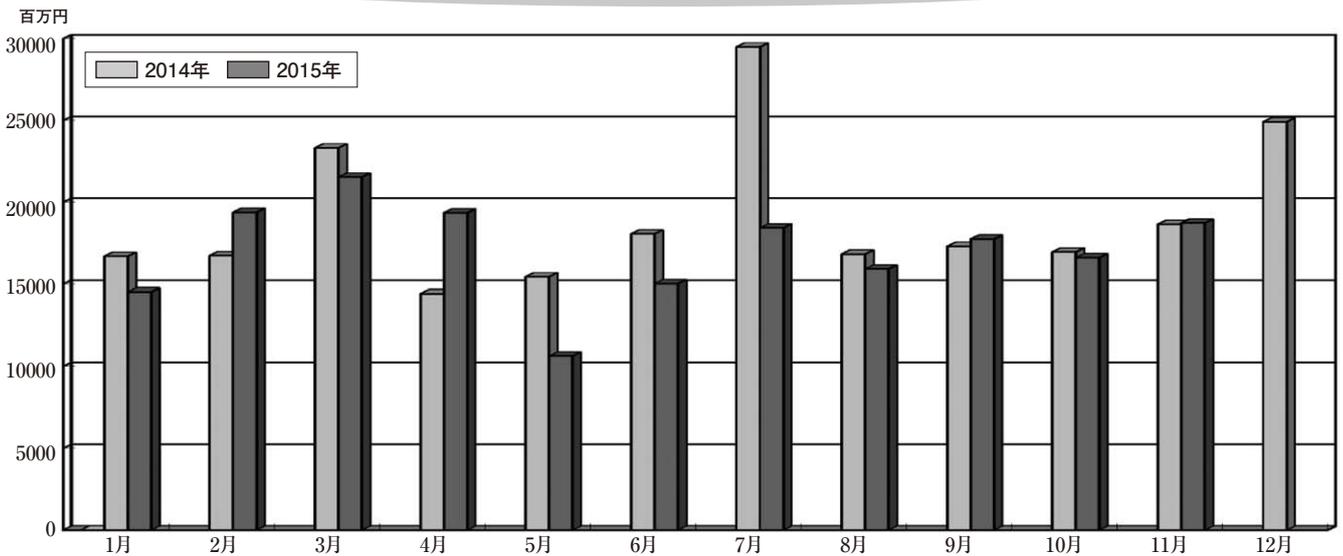
JVA会員によるメーカー出荷段階の金額、数量について集計した統計調査

2015年11月度

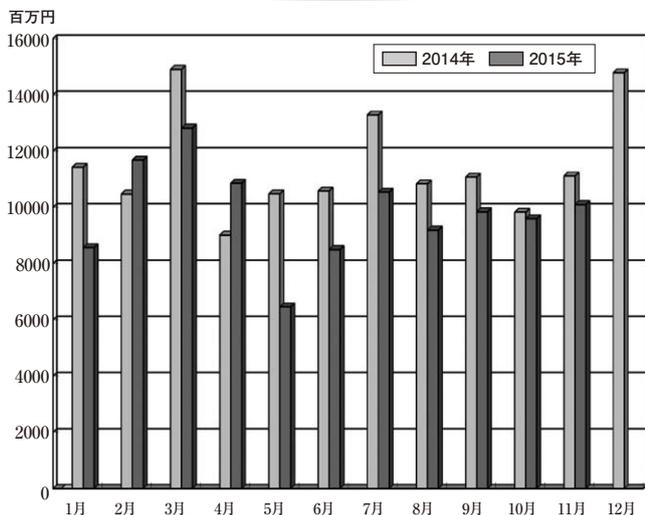
	11 月 実 績 (金額単位:百万円 数量単位:千本・千枚)								売上金額の増減社数	1 月 ~ 11 月 の 累 計							
	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同月比	新作数	前年同月比		金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同月比	新作数	前年同月比
販売用	5,785	57.3%	91.8%	2,017	47.1%	74.5%	574	97.3%	増12社 減19社 その他1社	62,554	57.3%	87.6%	20,758	44.9%	79.4%	5,298	96.6%
レンタル店用	4,247	42.1%	89.2%	2,242	52.4%	83.5%	411	88.0%		45,817	42.0%	90.9%	24,962	54.0%	103.2%	4,560	89.2%
業務用	67	0.7%	131.4%	19	0.5%	153.2%	31	91.2%		846	0.8%	109.6%	474	1.0%	177.8%	354	105.0%
DVDビデオ	10,099	53.9%	90.9%	4,279	69.3%	79.2%	1,016	93.1%	増12社 減19社 その他1社	109,217	57.7%	89.1%	46,194	72.6%	91.3%	10,212	93.4%
販売用	8,273	95.9%	114.5%	1,717	90.7%	114.2%	349	108.0%		76,550	95.5%	99.1%	15,536	89.1%	91.6%	2,930	97.0%
レンタル店用	347	4.0%	115.7%	176	9.3%	93.2%	20	87.0%		3,393	4.2%	84.7%	1,844	10.6%	104.0%	227	79.4%
業務用	7	0.1%	233.3%	1	0.0%	111.6%	0	0.0%	220	0.3%	415.1%	57	0.3%	383.6%	1	16.7%	
ブルーレイ	8,627	46.1%	114.6%	1,894	30.7%	111.8%	369	106.3%	増14社 減15社 その他3社	80,163	42.3%	98.6%	17,437	27.4%	93.0%	3,158	95.4%
販売用	8,273	95.9%	114.5%	1,717	90.7%	114.2%	349	108.0%		76,550	95.5%	99.1%	15,536	89.1%	91.6%	2,930	97.0%
レンタル店用	347	4.0%	115.7%	176	9.3%	93.2%	20	87.0%		3,393	4.2%	84.7%	1,844	10.6%	104.0%	227	79.4%
業務用	7	0.1%	233.3%	1	0.0%	111.6%	0	0.0%	220	0.3%	415.1%	57	0.3%	383.6%	1	16.7%	
合 計	18,726	100.0%	100.4%	6,172	100.0%	87.0%	1,385	96.3%		189,379	100.0%	92.9%	63,631	100.0%	91.8%	13,370	93.8%

◎今月の売上報告社数……32社(*前年同月の報告社数:31社) 無回答社……2社 ◎売上金額の増減社数……前年同月との比較。その他は増減なし、または前年同月の報告がない場合
 ◎DVDビデオおよびブルーレイの新作数の「業務用」には不明分を含む。また「レベニューシェアリング」用の作品数は新作数の合計値から除いている。
 ◎累計値には、1月~6月の数字として、2015年上半期調査の数字を用いている。

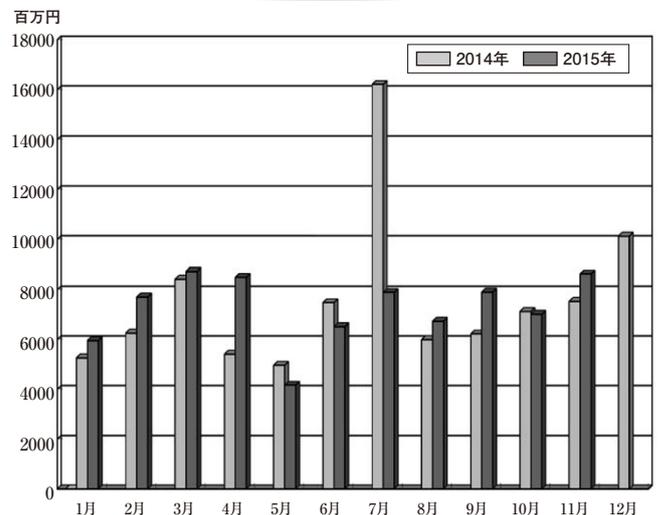
ビデオソフト売上金額の前年比較



DVDビデオ売上金額推移



ブルーレイ売上金額推移



一般社団法人 日本映像ソフト協会

会員社名(五十音順) 2016年1月1日現在

■ 正会員(31 社)

アスミック・エース(株)
(株)アミューズ
ウォルト・ディズニー・ジャパン(株)
エイベックス・ピクチャーズ(株)
(株)エスピーオー
(株)NHK エンタープライズ
NBC ユニバーサル・エンターテイメントジャパン(同)
(株)KADOKAWA
ギャガ(株)
キングレコード(株)
(株)JVC ケンウッド・ピクチャーエンターテイメント
(株)小学館
松竹(株)
(株)ソニー・ピクチャーエンターテイメント
(株)ソニー・ミュージックエンターテイメント
(株)第一興商
TC エンターテイメント(株)
東映ビデオ(株)
東宝(株)
東宝東和(株)
(株)東北新社
20世紀フォックス
ホームエンターテイメントジャパン(株)
日活(株)
(株)博報堂 DY ミュージック & ピクチャーズ
(株)バップ
(株)ハピネット
バンダイビジュアル(株)
(株)ポニーキャニオン
ユニバーサルミュージック(同)
(株)よしもとアール・アンド・シー
ワーナーエンターテイメントジャパン(株)

■ 協賛会員(18 社)

(株)アニプレックス
(株)一丸印刷所
(株)IMAGICA
エイベックス・ミュージック・クリエイティヴ(株)
カルチュア・エンターテインメント(株)
(株)キュー・テック
(株)金羊社
(株)ケンメディア
(株)ジャパン・ディストリビューション
システム
(株)星光堂
ソニー PCL (株)
東芝デジタルフロンティア(株)
(株)徳間ジャパンコミュニケーションズ
日本出版販売(株)
日本レコードセンター(株)
(株)富士フィルムメディアクレスト
(株)ムービーマネジメントカンパニー
メモリーテック(株)